

第107回

全国高校野球 青森大会

第3日

野辺西 初回9得点



【野辺地西—五所農林】1回表、野辺地西無死、左越え本塁打を放った先頭打者の佐々木がガッツポーズでダイヤモンドを回る一はるか夢

【評】野辺地西は初回、佐々木の左越え先頭打者本塁打で勢いづく。さらに後続も量みかけ、計14人の猛攻で9点を奪い勝機を引き寄せた。三、四回には泉、穂本の連続適時打で5点を追加。四回途中から救援した一ノ渡は一度の満塁のピンチ

◆先発登板して6失点が出せなかった。悔しを喫した青森中央・松風い。（松風塾の2人）には、これまで助けられたこと（青森中央、3年）自が何回もあったので感謝分たちがやってきたことしている。野球部の3年

をしのぎ、自責点0で試合を締めた。五所農林は失点後、兼平の長打などで追いかけ、5点を奪った。序盤の失点が重くのしかかった。◆初回に先頭打者本塁打を放った野辺地西の佐々木（3年）前日の夜からホームランを打つことをイメージしていた。とをイメージしていた。打った瞬間に（フェンスを越えたと確信。球がぐんぐん伸びていくのがとにかくうれしかった。先頭で打たれたと相手にとつてもプレッシャーに。次戦も1番として勝利を確信できる一打を放ちたい。◆2打席連続で三塁打を放った五所農林の兼平（3年）初回に9点を取られてしまったので打つしかないと思ひ、真ん中に来る球に狙いを絞って振り切った。ベンチからの声かけなど雰囲気はとも良かった。悔しい気持ちはあるけれども、今まで練習してきたことはできたので、悔いはない。

第107回

全国高校野球

青森大会

第4日

光星 着々加点



【評】八学光星は2点満塁、田中楓が左前へ2
リードで迎えた二回2死 点適時打を放って点差を

広げた。四、五回に計3
点を追加し、六回は再び
田中楓の適時打で1点を
加え、試合を決定つけた。
投げてはエース佐藤、柴
田が零封リレーした。
青森西は6失策、2暴
投と守備の乱れが失点に
つながった。
◆3打数3安打3打点
と活躍した八学光星の3

【青森西―八学光星】2
回裏、八学光星2死満塁、
田中楓が左前に2点適時
打を放ち4―0とリード
を広げる。捕手・鳥谷部
＝長根
番田中楓（3年） 夏は
何があるか分からないの
で不安だったが、全員で
九回まで戦う意識を持
ち、コールド勝ちに結び
つけることができた。初
戦からチャンスで打って
一安心している。青森県
で一番熱い夏にしたい。
◆主将としてチームを
引っ張った青森西の鳥谷
部（3年） 悔いの残る
結果になってしまった。
相手が強いと思いついて
みんな萎縮してしまった
ことが、6失策につなが
ったと思う。主将として
しっかり声をかけていれ
ばミスを減らせただろう
し、得点できたかもしれ
ない。九回に二塁打を打
つてくれた館田を（最後
の打者となった）自分が
かえしてあげたかった。